

第40回小金井市新型インフルエンザ等対策本部部会	日 時	令和2年10月13日(火) 9:50~10:20	場 所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長 天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、柿崎環境部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、梅原企画政策課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、石原健康課長			
議 題	1 新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針について 2 各部連絡事項			
資 料	1 新型コロナウイルス感染症についての市民アンケート報告書 2 事業者向け応援金・給付金支給状況 3 特別定額給付金・新生児特別給付金支給状況			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>市長：臨時会での補正予算審議をお願いしたいと考えている。都内の感染状況、医療提供体制とも予断を許さない状況が続いている。引き続き、市民生活支援、事業者支援に取り組んでいかなければならない。臨時会での補正予算の基金積み立ては、議会の組み換え動議を踏まえたものである。</p> <p>福祉保健部長：臨時会に向けて、臨時庁議もお願いする。</p> <p>健康課長：補正予算は、発熱外来診療開始のための工事、委託のほか、高齢者インフルエンザの増額、図書館の備品である。</p> <p>市長：発熱外来については、町会、自治会への説明が始められていると認識しているが、近隣と議会の理解が重要である。</p> <p>庁舎建設等担当部長：公立昭和病院で発熱外来を設置しているが、保健センターに設置する理由と市民へのアナウンスが必要と思われる。また、保健センターに発熱外来を設置するなら、新型インフルエンザ等対策行動計画に位置づけるべきと考える。</p> <p>健康課長：公立昭和病院については、交通の便で不利な面がある。行動計画への位置づけは検討したい。</p> <p>福祉保健部長：公立昭和病院発熱外来は、平日、土曜で小平市医師会の当番日もあり、保健センター発熱外来は、公立昭和病院発熱外来が診療していない日であり、四市医師会合同PCR検査センターとも相互補完の関係となる。</p> <p>副市長：保健センター発熱外来については、他市に先駆けて行う形態であり、現時点で都の補助金の対象にならないようであるが、今後の都の動向について情報収集をしていきたい。</p> <p>教育長：今回の補正予算には、学生支援に関する予算を計上していないが、現在行っている学生支援と学習支援の両立以外のものも形にしていきたい。</p> <p>企画政策課長：新型コロナウイルス感染症についての市民アンケート報告書がまとまった。市民の困りごとは、収入の減少、オンライン環境がないこと、学習の遅れの不安である。期日がないが、第4回定例会補正予算にぜひ反映をさせてほしい。</p> <p>【各部連絡事項】</p> <p>市民部長：プレミアム商品券、応援弁当、前売飲食券、ガイドブック発行、オープンスペースの利活用、アーティスト支援等を行っていく。実施済み、進行中事業の実績の一部として、事業者向けの応援金・給付金支給状況をご覧いただきたい。</p> <p>健康課長：医療従事者慰労金支給事業申請書を先週発送し、今週から各方面からお問い合わせをいただいている。</p> <p>生涯学習部長：図書館について、30分の利用制限を設けていたが、終了した。スポーツ施設について、栗山公園健康運動センターを利用に供しているが、総合体育館は修繕を行うため利用が制限されている。</p> <p>市民部長：集会施設、ホールは定員を半分として、利用に供している。有料施設について、半額、すでに支払い済みには、返金を行っていく。今後状況を見ながら制限解除も検討していく。</p>				

学校教育部長：学校あてに非接触型体温計の寄贈を受けた。施設利用については、消毒のうえ、利用に供している。

福祉保健部長：特別定額給付金、新生児特別給付金については、支給状況のとおりである。

以上